

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
酒田市の集合処理区を除く全域	酒田市	平成31年度～令和3年度	平成31年度～令和3年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標		現状 (割合※1) (令和 年度)	目標 (割合※1) (令和 年度) A	実績 (割合※1) (令和 年度) B	実績/目 標※2
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

指 標		現 状 (平成30年度)	目 標 (令和4年度) A	実 績 (令和4年度) B	実績/目 標※3
総人口		102,105 人	97,219 人	96,777 人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	71,436 人	70,863 人	70,524 人	62.8%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	87.9%	91.3%	90.6%	79.4%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	13,925 人	13,473 人	13,031 人	50.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	87.4%	89.8%	89.4%	83.3%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	3,566 人	3,379 人	3,186 人	49.2%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	72.2%	73.2%	73.2%	100.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	13,178 人	9,504 人	10,036 人	85.5%

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの	5	浄化槽市町村整備推進事業	酒田市	集合処理区を導入しがたい地域の周辺環境保全を図るため、浄化槽設置事業を実施する。	平成31年度～令和3年度	補助実績 平成31年度 5基
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

市町村内全体の汚水衛生処理率について、事業実施前（平成30年度）の87.1%から、事業実施後（令和4年度）は90.2%とする目標であったが、実績は89.6%であり、目標を達成できなかった。しかし、合併処理浄化槽については目標値と同じ値となり達成することができた。

計画期間の3年間において、合併処理浄化槽設置基数（補助金交付件数）は、計画5基に対し実績は5基となった。合併処理浄化槽整備人口については、計画16人に対し実績は16人となった。

合併処理浄化槽への転換については、令和2年度から市設置の合併浄化槽の設置事業を休止しており、令和3年度に計画を変更したところである。酒田市では、経営基盤の強化のため、排水処理施設の統廃合等の経費削減を最優先に政策転換したこともあり、整備数の増は見込めない状況である。

経営基盤の強化による財政マネジメントの向上により、新たな個人負担軽減策や整備施策の展開による汚水衛生率の向上を目指したい。

(都道府県知事の所見)

生活排水処理にかかる項目について、一部目標が達成されていない部分がある。
浄化槽の整備については、整備基数が計画基数に到達している。
今後は新たな施策の展開により、汚水衛生処理率の向上に努めていただきたい。